

令和7年シラス曳網調査結果 (第21報)

令和7年12月12日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

12月10日

2 調査海域

相馬海域

37-48N線上 141-00E(水深10m)、141-05E(水深32m)、
141-10E(水深38m)、141-15E(水深54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合1mm)
水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

12.6°C～15.8°C

(2)シラス採捕数(図1)

1定点あたり0～198尾(合計281尾)

今回のシラス採集数は前回調査時(12月1日、0～220尾、合計295尾)と比較し、減少しました。

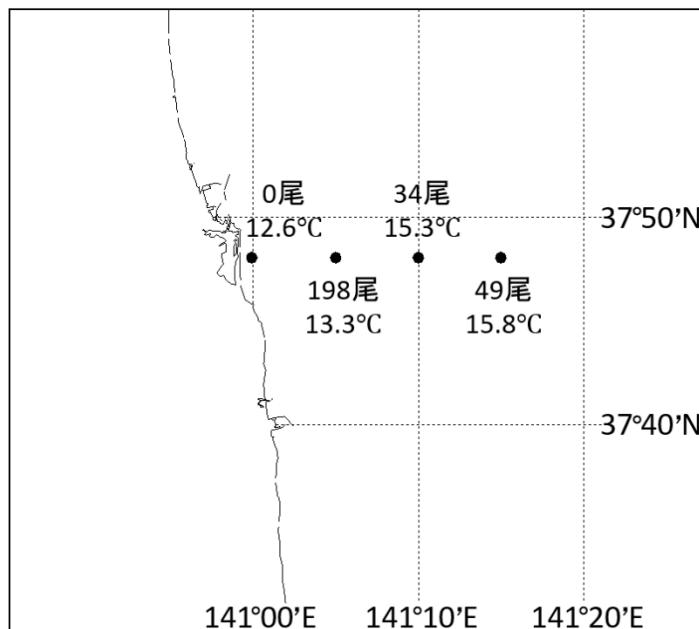


図1 カタクチイワシシラス採捕数

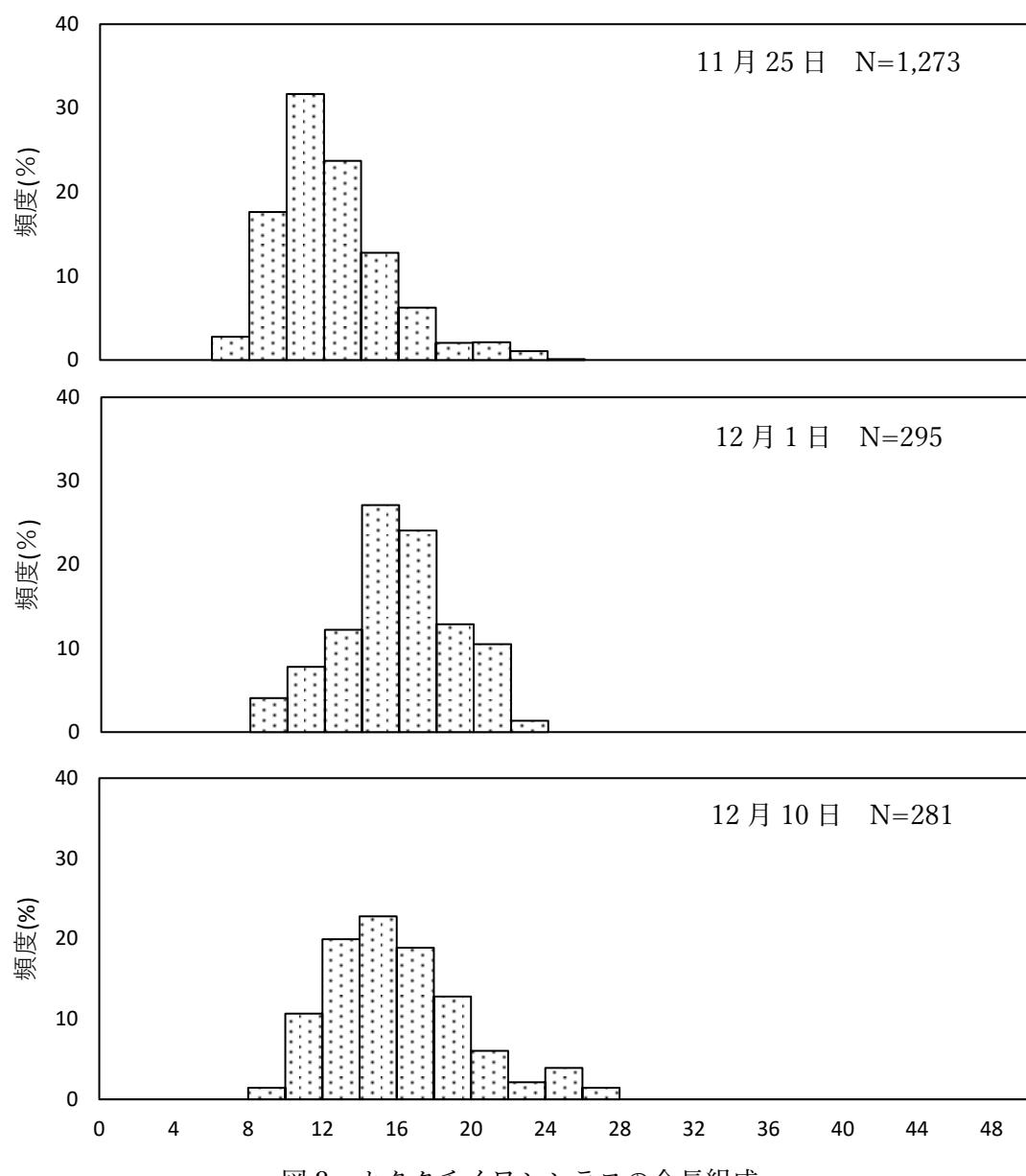
令和7年シラス曳網調査結果 第21報

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：9.7～27.9mm

全長16mm前後の群のシラスが採集されました。

141-05Eでは全長16mm前後、24mm前後の群のシラス、141-10Eでは全長14mm前後、20mm前後のシラス、141-15Eでは全長20mm前後の群のシラスが採集されました。



令和7年シラス曳網調査結果 第21報

(4)過去の調査結果との比較(図3、4)

令和7年12月の1定点あたりのシラス採捕数は72.0尾/定点で、平成18年以降で2番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年は1月にいわき地区で約6t、相双地区で約36tの水揚げがありました。また、いわき地区では6月9日、相双地区では8月18日より漁が行われています。

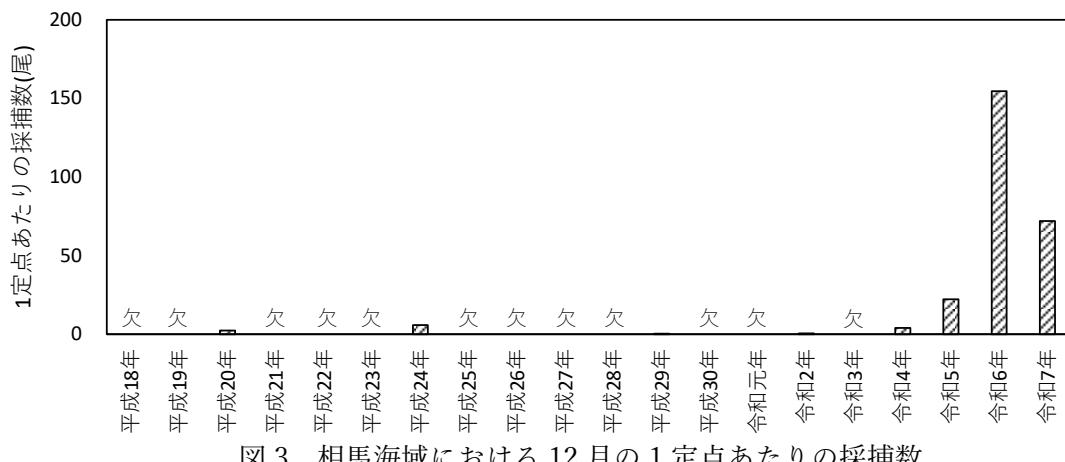


図3 相馬海域における12月の1定点あたりの採捕数

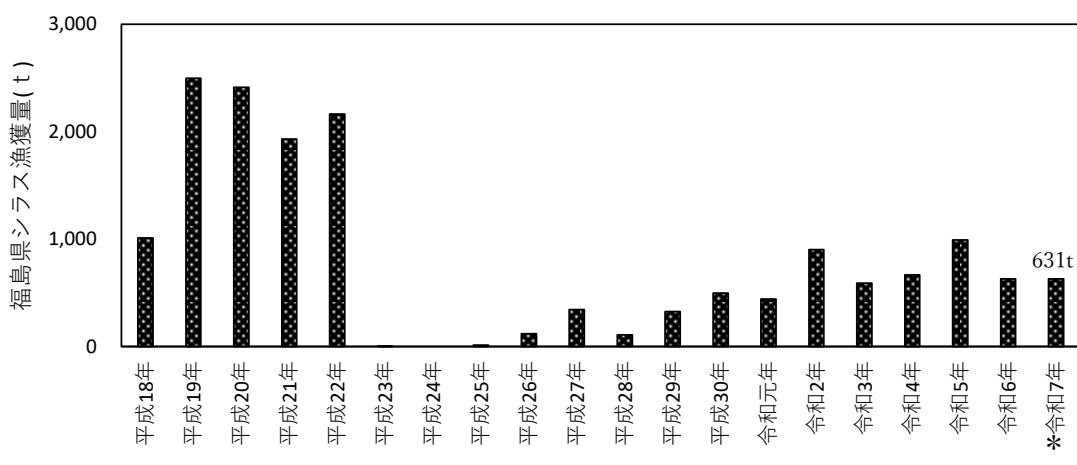


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*11月30日までの速報値